

みずほCustomer Desk Report 2023/11/16 号(As of 2023/11/15)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	150.70 AUD/USD
TKY 9:00AM	150.48	1.0878	163.73	1.2493	0.6499
SYD-NY High	151.43	1.0886	164.17	1.2500	0.6542
SYD-NY Low	150.05	1.0832	163.09	1.2404	0.6484
NY 5:00 PM	151.38	1.0846	164.15	1.2414	0.6510

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,991.21	163.51	日本2年債	0.0600%	▲0.0300%
NASDAQ	14,103.84	9.45	日本10年債	0.7900%	▲0.0600%
S&P	4,502.88	7.18	米国2年債	4.9150%	0.0811%
日経平均	33,519.70	823.77	米国5年債	4.5226%	0.0842%
TOPIX	2,373.22	27.93	米国10年債	4.5363%	0.0842%
シカゴ日経先物	33,400.00	180.00	独10年債	2.6295%	0.0285%
ロンドンFT	7,486.91	46.44	英10年債	4.2260%	0.0745%
DAX	15,748.17	133.74	豪10年債	4.5280%	▲0.1420%
ハンセン指数	18,079.00	682.14	USDJPY 1M Vol	7.24%	▲0.26%
上海総合	3,072.83	16.76	USDJPY 3M Vol	8.25%	▲0.17%
NY金	1,964.30	▲ 2.20	USDJPY 6M Vol	8.69%	▲0.23%
WTI	76.66	▲ 1.60	USDJPY 1M 25RR	▲0.67%	Yen Call Over
CRB指数	276.82	▲ 0.64	EURJPY 3M Vol	8.04%	▲0.04%
ドルインデックス	104.39	0.34	EURJPY 6M Vol	8.54%	▲0.08%

東京	東京時間のドル円は150.48レベルでオープン。五・十日の実需のドル買いや日経平均株価の堅調な推移にクロス円を中心とした円売り圧力は強く、ドル円は底堅く推移。結局、150.64レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、150.64レベルでオープン。ドル円は方向感ない展開。もみ合った後に150.38レベルでNYに渡った。なお、対ポンドでは2015年以來の円安水準となる188円台をつけていたが、英10月消費者物価指数が前年比で2年ぶりの水準へ下落したことでポンドはやや軟調推移に。187円台へ下落しNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台半ばでスタート。本邦第3四半期GDPが予想以上に縮小し、150円台後半まで買われた。その後も日経平均株価の堅調推移にサポートされ底堅く推移するが、欧州勢参入後は売り優勢で小幅下落し、150.38レベルでNYオープン。朝方に発表された米10月小売り売上高のヘッドラインは予想程悪化してない内容となるも、同時に発表された米10月PPIヘッドラインも予想より低下し、強弱混合な結果を受け、発表直後は売りで反応し、150.05まで下落するも、その後徐々に買い戻しが入り、151.20近辺まで値を戻す。午後は米金利が上げ幅を拡大する動きを眺めながら151.43まで続伸し、その後151.38レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。英10月CPIの予想より減速した結果を受け、独金利低下が重しとなり、1.0844まで下落。その後ショートカバーが入り、小幅反発し、1.0864レベルでNYオープン。朝方は先述の米経済指標の結果を受け、一時1.0886まで戻すも、その後一転ドル買いが優勢となった事を受け、1.0832まで値を下げる。午後も米金利の高止まり展開が上値を抑え、1.08台半ばを軸とした値動きが続き、1.0846レベルでクローズ。

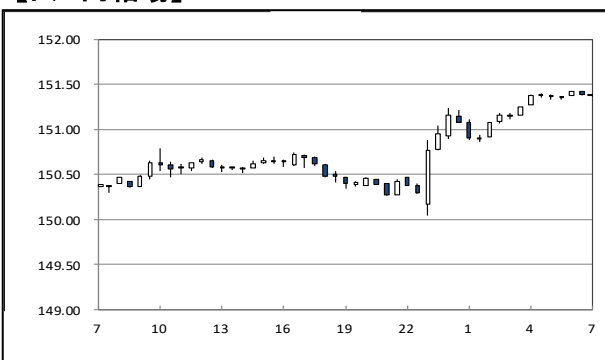
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月15日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	3Q -2.1%	-0.4%
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	3Q -0.5%	-0.1%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	10月 4.6%	4.5%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	10月 7.6%	7.0%
	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	10月 0.0%/4.6%	0.1%/4.7%
	16:00	英 CPIコア(前年比)	10月 5.7%	5.8%
	19:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	9月 -1.1%	-1.0%
	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	10月 -0.1%	-0.3%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	10月 0.1%	-0.2%
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	10月 -0.5%/1.3%	0.1%/1.9%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	11月 9.1	-3.0

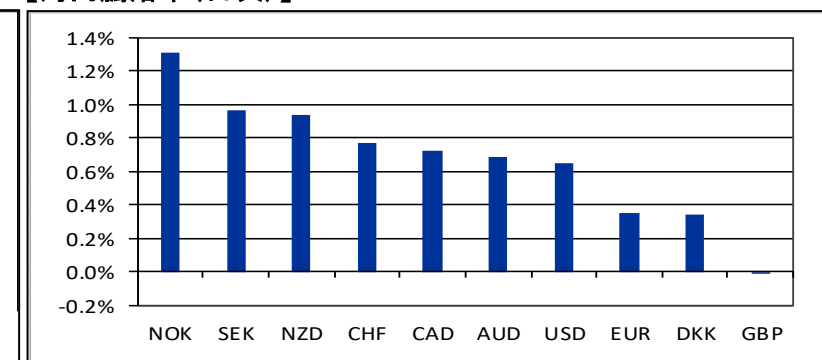
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月16日	08:50	日 貿易収支	10月 -¥731.3b	¥72.1b
	09:30	豪 雇用者数変化	10月 24.0k	6.7k
	09:30	豪 失業率	10月 3.7%	3.6%
	21:10	米 バーFRB副議長 講演	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	11-Nov 220k	217k
	22:30	米 フィデリティ連銀景況	11月 -8	-9
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	10月 -0.4%	0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.80-152.00	1.0780-1.0900	163.50-165.00

【マーケットインプレッション】

昨日は海外時間に発表された米10月PPIが予想よりも弱く、ドル円は一時150.05まで下落したが、米10月小売売上が予想よりも上振れ、米国経済の底堅さが示され、151円台を回復した。

本日のドル円は151円台での小幅推移を予想する。依然として開きの大きい日米金利差を背景に、ドル高円安地合いは継続されるだろうが、米国の早期利下げ期待が意識されていることや152円手前では介入警戒感もあり、高値を更新するには新たな材料が欲しいところ。先日のCPIの弱い結果を受け、市場は年内利上げを見送るとのシナリオをメインとしているが、足許のFed高官からは年内利上げの可能性がある旨の発言が散見されており、本日も複数のFed高官の発言が予定されている。内容次第では、利上げ見送りのシナリオ修正に伴い、ドルが強含む展開となる可能性があることには留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上遠野・升谷